

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第1回川島町男女共同参画推進委員会
開 催 日 時		平成26年6月18日（水） 午前10時～11時10分
開 催 場 所		川島町役場本庁舎決裁室
議 題		（1）会議の公開について （2）会議録の記録方法について （3）会議録署名委員の指名 （4）平成26年度の男女共同参画に関する事業計画について
公開・非公開の別		公 開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	1号委員 関根由希江 2号委員 関光一 3号委員 笛木満、南義明 4号委員 谷澤喜美江、大野清子、大畑みよの
	事務局職員	総務課 粕谷克己、山崎勝義、江間裕一、杉内弓子
配 布 資 料		資料1 川島町男女共同参画推進委員名簿 資料2 平成26年度の男女共同参画に関する事業計画について 参考資料1 町の審議会等委員への女性の登用促進について（通知） 参考資料2 川島町DV対策庁内連携会議設置要綱 追加資料 男女混合名簿を実践して (国際女性フォーラム in 彩の国～女性みらい会議～分科会講演録) 埼玉県西部地域まちづくり協議会男女共同参画部会パンフレット

審議会等の内容・概要

1 開会

2 あいさつ 関男女共同参画推進委員長

3 議事

(1) 会議の公開について

- ・個人情報を含む内容の審議ではないことから公開と決定した。

(2) 会議録の記録方法について

- ・会議録は発言者の発言内容ごとの要点記録とすることとした。

(3) 会議録署名委員の指名

- ・会議録署名委員は委員長の指名により、南義明委員及び笛木満委員に決定した。

(4) 平成26年度の男女共同参画に関する事業計画について

- ・資料2により、事務局から報告事項、今年度の取組課題、今年度のスケジュールについて説明した。
- ・これらの説明を基に、委員から意見を募った。

【意見】

○DV相談体制について

【委員】DV対策庁内連携会議設置要綱が制定されたが、連携会議を開催したことはあるか。

【事務局】連携会議を開くまでの事案がないため開催してはいない。DV事案に対しては担当者レベルの連携は図っている。

【委員】DV相談は本人がすることができれば一番よいが、周囲が気づいて相談につなげることも大切なのではないか。また、DVと思われる事案について通報を呼びかけてもよいかと考える。

【委員】DVを子どもが目撃することは児童虐待と定義されている。その観点から子どものために通報、相談することを呼びかける必要はあるのではないか。また、町へ相談することは「個人情報や役場職員へ知られてしまうのではないか」という不安を抱える住民にとってハードルが高い。広域で相談する体制作りも必要なのではないか。

【委員】相談電話番号がついたカードを作成し、相談の秘密を守ることを記載して配るところが多い。

【委員】DV被害者は女性が多いが、若年層では男性の被害者も増えている。相談電話のカードは男性も手に取れるようにしたほうがよい。

【委員】委員会として、住民がDVに関する相談をしやすくするために、広域相談体制の整備をすること、公共機関や人の集まるところに相談カードを作成し設置することを町に提言する。できるところから一つずつ解決していただきたい。

【事務局】早急に対応できるところから取り組んでいきたい。

○今年度の男女共同参画に関する研修について

【委員】研修は何人規模を考えているか。

【事務局】現在、30～40名程度と考えている。ご意見があればお願いしたい。

【委員】講師もどのくらいの人数での実施が適当か考えていると思うので、候補がいるのであれば相談の上、決定するのがよいのではないか。

【委員】働いている男性も参加してもらえば、参加しやすい時間帯（平日・夕方）での開催を考えてもらいたい。また、子育て中の参加者を多くするためにも、小学生までの保育の実施も考えてもらいたい。

【委員】研修の中心となる年齢層をどこにするかによるが、幅広く人を集めて実施するのがよい。PTAに参加要請をしてはどうか。

【委員】公民館委員やPTA関係者に参加要請をすることで、年齢層、地域性に広がりが出る。現在の研修は啓蒙活動の要素が強いので、広く声をかけ参加してもらうことが大切である。

【事務局】研修については、保育サービスつきで計画するようにしたい。

【委員】男性対象の育児イベントの実施結果はわかるか。今後、男女共同参画に関するさまざまな取組を情報提供してもらいたい。

【委員】課ごとに実施しているものではあるが、住民は「町の実施」で考えている。広く取組内容を把握してもらいたい。

4 その他

【事務局】本日追加配布した資料について、補足をお願いしたい。

【委員】前回の会議で男女混合名簿について取り上げたので、理解するための参考資料として配布した。


【委員】混合名簿を知るきっかけとして読みたいが、さまざまな意見があると思うので、これを元に極端な反応を委員会でしないようにすべきではないか。今ある課題を一つ一つ考えていくのが大切である。

【委員】会議の前に、資料を手元に送付してもらいたい。

【事務局】次回から対応する。

・次回は、平成26年12月中に委員の日程を調整し、平成27年2月中に開催することにした。

5 閉会 関根副委員長

署 名	南 義明 
	笛木 満 